

【表紙】

|            |                                       |
|------------|---------------------------------------|
| 【提出書類】     | 臨時報告書                                 |
| 【提出先】      | 東海財務局長                                |
| 【提出日】      | 2023年 4 月 6 日                         |
| 【会社名】      | 株式会社テスク                               |
| 【英訳名】      | TISC CO.,LTD                          |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 梅田 源                          |
| 【本店の所在の場所】 | 名古屋市中区栄一丁目18番 9 号                     |
| 【電話番号】     | 052(222)1000                          |
| 【事務連絡者氏名】  | 管理部長 塚本 浩介                            |
| 【最寄りの連絡場所】 | 名古屋市中区栄一丁目18番 9 号                     |
| 【電話番号】     | 052(222)1000                          |
| 【事務連絡者氏名】  | 管理部長 塚本 浩介                            |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社名古屋証券取引所<br>( 名古屋市中区栄三丁目 8 番20号 ) |

## 1【提出理由】

当社は、2023年4月6日開催の取締役会において、株式会社サンブランソフトの株式を取得し、子会社化することを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

(1) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号 : 株式会社サンブランソフト  
本店の所在地 : 愛知県名古屋市西区菊井二丁目19番11号 大興クレアション3F  
代表者の氏名 : 代表取締役社長 山村 竜太  
資本金の額 : 10百万円  
純資産の額 : 138百万円  
総資産の額 : 398百万円  
事業の内容 : ソフトウェア開発

(2) 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(単位: 百万円)

| 決算期   | 2020年2月期 | 2021年2月期 | 2022年2月期 |
|-------|----------|----------|----------|
| 売上高   | 199      | 182      | 202      |
| 営業利益  | 2        | 2        | 24       |
| 経常利益  | 3        | 4        | 25       |
| 当期純利益 | 2        | 4        | 17       |

(3) 取得対象子会社の当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。  
人的関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。  
取引関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、自社開発の業務パッケージソフトウェアである「CHAINS Z」および「GROWBS」を中核に据えた各種ITサービスの提供を主な事業内容としております。

この度、当社グループに参画する株式会社サンブランソフト(以下「サンブランソフト」という)も、当社と同様に、自社開発の業務パッケージソフトウェア(輸出入在庫販売管理システム)の開発・カスタマイズ・販売・保守・メンテナンスを手がけています。当社のソフトウェア開発事業を伸長させてきた経験とノウハウを活かすことで、更なる業容拡大ができると考え、サンブランソフトの全株式取得を行い子会社化することといたしました。

当社グループは、サンブランソフトの参画により、新たな顧客層を獲得することができ、また、既存顧客へのサービス提供の幅を広げることもできます。より価値のあるITサービスを提供する体制を整えることにより、更なる企業価値の向上を図ってまいります。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

当事者間の秘密保持の合意に基づき非開示とさせていただきますが、適切なデューディリジェンスを実施の上、公正妥当と考えられる金額にて取得しております。

以 上